

項目別評価結果一覧

評価の項目	評 価 結 果
経営トップの安全に関する考え方	<p>経営トップは、安全確保のために積極的に関与し、リーダーシップを発揮されていることを評価します。</p> <p>今後も引き続き積極的なリーダーシップを発揮されることを期待します。</p> <p>【評価事項】</p> <p><u>経営トップは、「公共的な輸送であり、安全・確実な輸送が社会的使命であることを認識させる」の考えの下、積極的に関与していること</u></p>
1. 安全管理の考えと計画	<p>(1) 原則、方針、具体的な目標、取組計画</p> <p>安全最優先の原則及び安全方針は、作成されています。</p> <p>今後とも、社内への周知について、取組みの実施・強化を図られることを期待します。</p> <p>(2) 安全統括管理者</p> <p>安全統括管理者は、今後も継続して安全確保に向けて積極的に取り組まれることを期待します。</p>
2. コミュニケーション	<p>(1) 現場との情報伝達の仕組み、ボトムアップ、横断的な共有</p> <p>現場社員（運転者等）との情報共有・コミュニケーションについては、確保されています。</p> <p>今後とも、現場社員（運転者等）からの意見・要望を収集されることについて、充実を図られることを期待します。</p> <p>(2) 安全啓発</p> <p>乗客に対する安全啓発（車内アナウンス等）を実施され、更なる安全の確保のため取組みの充実・強化を図られることを期待します。</p>
3. 事故等情報の収集・活用	<p>(1) 事故及びヒヤリ・ハット情報</p> <p>【事故情報】</p> <p>事故発生時の対応手順や連絡方法を定められ、必要な部署に周知されています。</p> <p>今後は、事故、トラブルの発生状況等の傾向を把握され、有効な再発防止対策を策定・実施されるとともに、取組みの充実・強化を図られることを期待します。</p> <p>【ヒヤリ・ハット情報】</p> <p>ヒヤリ・ハット情報を収集するため、社員（運転者等）に対する当該情報の収集目的の周知や危険感受性の向上に関する取組みを行うなど、</p>